



平成23年1月14日
会社名 ユニオンツール株式会社
代表者名 代表取締役社長 片山 貴雄
(コード番号 6278 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 田口 秀雄
(電話 03-5493-1001)

各 位

平成22年11月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成22年11月期通期（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）の開示業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成22年11月期 通期業績予想値と実績値との差異

連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	18,831	2,975	3,228	2,099	93.95
実績値(B)	18,817	2,638	2,873	1,969	88.29
増減額(B-A)	△13	△337	△354	△130	-
増減率(%)	△0.1	△11.3	△11.0	△6.2	-
(ご参考)前期実績 (平成21年11月期)	16,352	497	398	163	7.32

個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	15,028	2,299	2,556	1,633	73.08
実績値(B)	14,444	2,347	2,636	1,741	78.06
増減額(B-A)	△583	+48	+79	+108	-
増減率(%)	△3.9	+2.1	+3.1	+6.6	-
(ご参考)前期実績 (平成21年11月期)	11,664	93	350	161	7.22

2. 通期業績予想値と実績値との差異の理由

個別業績および連結売上高につきましては、概ね想定通りの推移となりましたが、連結業績における収益面で差異が生じました。この差異は、連結決算修正における費用増加項目が増えたこと（内製機械設備のグループ内新設・移転に伴う利益未実現消去額の増加など）と新製品開発のための研究開発費の追加計上によるものであります。

当社グループに関連深い電子機器工業界は、めまぐるしい変化を繰り返しており、予断を許さない状況です。当社グループは、主力のプリント配線板用超硬ドリル事業の更なる足場固めと新製品投入に注力していく所存であります。

以 上